

障害者自立支援法について

問 応益負担となり、特に一人暮らしの障害者に深刻な影響が出ている。国や関係機関に対して見直しを求める意見を上げ、区として、本人負担をさせない立場に立つべきでは。**答** 区独自の減免策を実施してきました。区のサービスは高い水準に達していると認識しています。定率負担の見直しについては現段階では難しいものと考えています。**問** 区独自の負担軽減措置と施策の拡充について、次の6点を区長に伺う。⑦ホームヘルパー派遣事業について、一般世帯の自己負担を3%に、非課税世帯の自己負担をゼロにしては。①移動支援事

業については、従来の応能負担へ戻すべきでは。⑨ガイドヘルパー派遣については、病院内での付き添いガイドを認めては。⑤練馬区では、通学介助の制度を設けている。本区でも実施してはどうか。④松が谷福祉会館での利用者負担を無料にしてはどうか。⑥自立生活をしている重度障害者に家賃補助を実施してはどうか。**答** ⑦特に低所得者に配慮した軽減策を実施しています。①新たに20時間の無料時間の設定を行っています。⑨必要に応じて、既に派遣を実施しています。⑤様々な課題があり、現段階での導入は難しいと考えています。④施設の性格を異にしていることから、利用者負担をお願いしています。⑥状況を十分に把握し、検討します。



小菅 千保子 (台東区議会公明党)

「シニア・ピア・傾聴ボランティア」について

問 高齢者の孤独死など悲劇的事件が相次ぐ中、「地域の見守りの目」をどれだけ増やせるかが鍵となる。区では、友愛訪問員事業を行っているが、まだまだマンパワー不足である。また、葛飾区で実施している「シニア・ピア・傾聴ボランティア」は、傾聴の基礎を学んだ同世代の高齢者が傾聴の担い手となることで、共感して話を聞いてもらえる、ボランティア自身の生きがいにつながるなど、様々な効果が期待されている。区における「痛ましい事例のゼロ」を目指し、次の2点について区長の積極的な答弁を求める。⑦「シニア・ピア・傾聴ボランティア」の手法を取り入れた、見守りスキルアップのための傾聴研修会を実施してはどうか。①ひとり暮らし支援拡充のため、見守りの人材を確保してはどうか。**答** ⑦見守りや話し相手などを必要としている高齢者は、確実に増えております。相手の話に心を傾けて聴くためには、その基礎を身につける必要があります。ご提案の傾聴技術

習得のための養成研修会等を実施して参ります。①地域のマンパワーを活用した閉じこもり予防の事業を実施し、見守りの目を増やしています。今後も、新たな取り組みを積極的に行い、人材の確保に努めます。

「放課後子どもプラン」について

問 子ども達の人格形成のためにも群れ遊びが必要であると考え。国は平成19年度から全小学校区で「放課後子どもプラン」をスタートさせる意向であると聞いたが、区の放課後の子ども対策について、次の2点を教育長に伺う。⑦国の意向を受け、区ではどのように対応していくのか。①区内でモデル校を1か所設定し、まず取り組んでみてはどうか。**答** ⑦本年9月に、区に対する意向の調査がありました。それは、小学校の余裕教室等を活用して、さまざまな取り組みを実施し、安全・安心な放課後の子どもの居場所の確保や、参加する子どもたちに学習の場を提供することも視野に入れた内容のものでした。区で実施しています各種事業との連携などの課題もありますので、検討を重ねているところです。区の地域性に相応しい事業にすべく具体化を検討して参ります。①モデル校での実施検証の後、できるだけ多くの小学校で取り組み、子ども達の放課後を充実させていきます。



関根 博之 (チェンジ台東)

官僚任せから区民主役の区政にチェンジしませんか

問 ⑦真の地域コミュニティをつくり、これを新しい公共という枠組みに置き換えて、公園や公共施設の管理運営を行政と一緒に進めていくことには、賛成か反対か。また、どのような考えを持っているのか、区長に伺う。①外郭団体への職員の天下りをなくすことについて、賛成か反対か、区長に伺う。**答** ⑦区民と区の適切な役割分担のもと、積極的に協働を進めることが、重要な課題と認識し、基本構想、長期総合計画に「パートナーシップの促進」を掲げ、区民参画を推進

しています。官と民による協働の姿について、議員の提案も含め、検討します。①施設運営にあたり、固有職員中心の体制へと移行を進め、その上で、区から配属される職員の人数・職務内容を見直します。

好景気実感のない中小零細商店が99%のまち台東区には消費税増税でなく、真の下町経済活性化対策にチェンジしませんか

問 国が、徹底した行政改革もせず、年金保険事業の赤字の処理を国民に押し付けるような現状で、消費税率を上げようとしている。好景気の実感のない中小零細企業や商店が99%を占める本区では、消費税増税ではなく、真の下町経済活性化対策を推進すべきと考えるが、区長は、区民の代表として消費税増税に賛成するのか、それとも反対するのか伺う。**答** 融資あっせん、経営研修等の施策を実施しています。区内中小企業の振興に資するため様々な施策の展開を図ります。



和泉 浩司 (台東区議会自由民主党)

ワンルームマンションの規制について

問 建築紛争の原因でもあり、昨年「東京都台東区集合住宅の建築及び管理に関する条例」が施行されたが、効果は。**答** 100を超える事前協議を行い、居住者のモラル向上等の成果がありました。継続的に検討します。**問** 他区では、「狭小住戸集合住宅税」等を定めているが、区でも工夫すべきと考え、次の2点を区長に伺う。⑦単身者向けの住戸の充足は。①他区の課税による規制制度の評価と区での導入の意思は。**答** ⑦ほぼ充足していると認識しています。質的水準の向上を考えています。①導入は困難と考えます。**問** 地区計画の制度の導入が急務である。都市計画マスタープラン等に示されている制度の実現のための取り組みは。**答** 各地域のまちづくり協議会に職員が出向き、より良いまちづくりの推進に努めます。**問** 建築紛争になり易いワンルームマンションについて、様々な手法で、伝統ある下町の区民生活と街づくりを推進すべきでは。**答** 地区ごとの実情に即した対応を図ります。

15期 質問の総括

問 職員の「スピード感がない」「時間がかかる」点を、改善すべきでは。**答** 区民の声に耳を傾け、「スピード感」ある対応を心がけるよう指導します。**問** 職員の意識改革・体質改善について、次の3点を区長に伺う。⑦区に対する愛情を持たせるため、職員の区内在住を促進しては。①区所有の有効活用されていない土地に職員防災住宅などを建設しては。⑨職員が台東区・区民に愛着をもてる方策をとっては。**答** ⑦職員の採用などで、区内居住者に配慮するなど努めて参ります。①一層の充実に努め、防災要員の確保にも資するよう図ります。⑨「台東区人材育成方針」において、「台東区を愛する職員」を掲げています。区の歴史や文化の魅力に精通し、区民の方々との交流を深め、区への愛着心を高めるよう、取り組みます。**問** 広報の充実について、次の2点を区長に伺う。⑦浅草文化観光センターに屋外大型ディスプレイを設置し、来街者にPRしては。①コミュニティFMについて、16年決算特別委員会総括質問で「多方面から検討する」とのことだったが、結果は。**答** ⑦改築を含め、あり方の見直しを行っています。①免許取得の見込みが立たず、難しいと考えます。ミニFM放送についても、安定的な放送は難しいと考えます。**問** 10月23日の決算特別委員会総括質問において、区長は、「幼児インフルエンザ予防接種助成」の実施を明言したが、どのように考えているのか。**答** 実施に向け、鋭意検討を進めております。